ご利用案内

開館時間　10:00～17:00（入館は 16:30 まで）
休 館 日　水曜日（水曜日が祝日の場合は翌日が休館）
　　年末年始（12/28～1/4）

観 覧 料	本館展示	特別展 ※1 「太陽の塔からみんぱくへ —70 年万博収集資料」	特別展 ※1 「工芸継承—東北発、 日本インダストリアルデザインの 原点と現在」
一　般	420（350）円	420（350）円	830（560）円
高校・大学生	250（200）円	250（200）円	450（250）円
中学生以下	無料	無料	無料

※1 本館展示もご覧になれます。

（　）は、20名以上の団体料金、大学等の授業でご利用の方、授業レポート等の作成を目的とする高校生、3ヵ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金（要証明書等）

特別展「工芸継承」は 20名以上の学校団体については、本館展示割引観覧料相当額（高校・大学生 200円）でご覧になれます。

○全国の主要コンビニエンスストアで割引観覧券（団体料金）をお買い求めいただけます。
○自然文化園の通行については、〈交通のご案内〉をご覧ください。
○障がい者手帳をお持ちの方は付添者1名とともに、無料で観覧できます。
○高校生は毎週土曜日に無料で観覧できます。
　ただし、自然文化園（有料区域）を通行される場合は、同園の入園料が必要です。

〈交通のご案内〉

◎大阪・万博記念公園内
○大阪モノレール…「万博記念公園駅」または「公園東口駅」下車徒歩約15分
○バス…阪急茨木市駅・JR 茨木駅から「万博記念公園駅（エキスポシティ前）」「日本庭園前」下車徒歩約 13分
○乗用車…万博記念公園「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分
○タクシー…万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。
「日本庭園前駐車場」を利用される方は、「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。

※高校・大学生・一般の方は自然文化園（中央口、西口、北口）窓口で、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
※小・中学生が自然文化園（有料区域）を通行される場合は、自然文化園（中央口、西口、北口）有人窓口で、みんぱくへ行くことをお申し出いただき、無料通行券をお受け取りください。
※東口からは、自然文化園（有料区域）を通行せずに来館できます。
※東口または日本庭園前駐車場から来館し、自然文化園（有料区域）を通行してお帰りの場合は、同園入園料が必要です。

お問い合わせ先　TEL. 06-6876-2151　FAX.06-6875-0401
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
http://www.minpaku.ac.jp

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

本館展示

国立民族学博物館（みんぱく）は、世界の人びとの暮らしや文化にふれることができる世界最大級の民族学博物館です。世界各地の衣食住に関わる生活用具や、儀礼や信仰につかう道具などを展示しています。

オセアニア展示

アフリカ展示

日本の文化展示

音楽展示

館内のご案内

インフォメーション・ゾーン〈無料〉　展示場への導入の役割をはたす「イントロダクション展示」、みんぱくの研究や展示をより詳しく知ることができる「探究ひろば」、世界のさまざまな地域の生活や文化を紹介した映像番組を視聴できる「ビデオテーク」があります。

みんぱく電子ガイド〈無料〉　携帯型の電子ガイドを使って、映像と音声で構成された展示解説を展示場の中で自由に選んで見ることができます。

大型手回しオルガン演奏　毎週土曜日と、4～5月・10～11月の毎日、11:00から約15分間、エントランスホールにて演奏。ご来館の皆様も演奏することができます。
※都合により演奏を取りやめる場合があります。

ミュージアム・ショップ
オリジナルグッズや、民族学に関連した出版物、CD、世界各地から取り寄せた民芸品など多彩な商品を取りそろえています。TEL.06-6876-3112

レストラン
本格エスニックメニューが充実。カフェのみのご利用も可能です。11:00～16:30（ラストオーダー16:00）
TEL.06-6876-1293

国立民族学博物館友の会
みんぱくの活動に協力するとともに、その研究成果を活用するためにつくられました。機関誌『季刊民族学』・広報誌『月刊みんぱく』・講演会や研修の旅をとおして多様な文化の情報を提供します。お問い合わせ先：千里文化財団
TEL.06-6877-8893（土日祝を除く 9:00～17:00）　http://www.senri-f.or.jp

みんぱくゼミナール　研究者が最新の研究成果をわかりやすく講演します

毎月第3土曜日13:30～15:00（開場 13:00）
●場所：講堂 ●無料 ●定員：450名 ●申込不要
※講師・演題は都合により変更する場合があります

第479回　4・21土　●特別展関連

EEM という「運動」
松原正毅（国立民族学博物館 名誉教授）　野林厚志（国立民族学博物館 教授）
丹羽典生（国立民族学博物館 准教授）
EEM（Expo'70 Ethnological Mission「日本万国博覧会世界民族資料調査収集団」）の収集の様子や当時の裏話を、EEMの主要なメンバーであった松原正毅先生をお迎えして、皆様と楽しみたいと思います。

当時の航空券やパスポート

第480回　5・19土

聖都エルサレム
菅瀬晶子（国立民族学博物館 准教授）
一神教共通の聖地エルサレム。なぜこの街が聖都と呼ばれ、なぜその帰属が問題となるのか、パレスチナ・イスラエル双方の視点、さらにはアメリカで力を持つキリスト教右派の視点を比較しつつ、お話しします。

エルサレム旧市街の聖墳墓教会
キリスト教最重要の聖地

第481回　6・16土

データベースのはしご
山本泰則（国立民族学博物館 准教授）
みんぱくではさまざまなデータベースを作成して公開していますが、その数が増えてくると全部まとめて検索したくなります。今回は、みんぱくも開発に加わった人間文化研究機構の横断検索システムのことを紹介します。

みんぱくのデータベースを横断検索した結果

第482回　7・21土　●企画展関連

アーミッシュ・キルトを巡る旅—いくつもの人生物語へ
鈴木七美（国立民族学博物館 教授）
無地の服を着て馬車を駆るキリスト教再洗礼派アーミッシュが端切れでつくるキルトは、贈り物や支援品として人びとをつないできました。キルトに織りこまれた生活世界とキルトが紡ぐ物語を訪ねます。

母からの結婚祝い
「日なたと日陰」キルト

第483回　8・18土

毛沢東バッジの過去と現在
韓敏（国立民族学博物館 教授）
毛沢東の肖像が入ったバッジは、主に1960年代後半に中国各地で集中的に製造され、当時の人びとのファッションに定着しました。バッジの関係者の語りをとおして、時代の装飾品の系譜とその意味の変化を追ってみます。

観光地や骨董品店で流通しているバッジ
瀋陽 2003 年 韓敏撮影

第484回　9・15土　●特別展関連

特別展「工芸継承」からのメッセージ
日髙真吾（国立民族学博物館 准教授）
特別展「工芸継承」では、日本のインダストリアルデザインの先駆けとなった工芸指導所の活動を紹介しています。ゼミナールでは、世界にほこる日本の工芸品が、この精神を受け継ぎつつ、どのように挑戦するのかについて考えます。

奈良漆器「律」（北村繁作）

みんぱく カレンダー

2018
4—9
Apr. Sep.

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

■特別展　3・8㊍～5・29㊋　■特別展示館

開館40周年記念特別展

太陽の塔からみんぱくへ―70年万博収集資料

1968年から1969年にかけて「日本万国博覧会世界民族資料調査収集団」が収集した世界の諸民族の仮面、神像、生活用具を展示し、収集活動にかかわる書簡や写真をとおしてコレクションの生い立ちを紹介します。これらの資料は、70年大阪万博で太陽の塔（テーマ館）の地下に展示され、現在、みんぱくの貴重なコレクションとなっています。

写真提供：大阪府

写真提供：大阪府

仮面／コロンビア
写真：六田知弘

仮面／マレーシア
写真：六田知弘

祖先像／
ニューヘブリデス諸島

彫像／ニューギニア
写真：六田知弘

仮面／ハンガリー
写真：六田知弘

独楽／パキスタン
写真：六田知弘

土器／ニューギニア
写真：六田知弘

シャトルバス運行予定　無料　3/8(木)～5/29(火)の土・日・祝

大阪モノレール「万博記念公園駅」⇄国立民族学博物館

万博記念公園駅➡みんぱく					
10	11	12	13	14	15
06	06		16	26	26
36	36	46	46	56	56

みんぱく➡万博記念公園駅							
10	11	12	13	14	15	16	17
	20		00	10	10		00
50		30	30	40	40	30	

※運休日：
平日と、
4／21(土)　22(日)
28(土)　29(日・祝)
30(月・振休)

※万博記念公園でイベント開催の場合は臨時に運休することがあります。※詳しくはホームページをご覧ください。

体験コーナー　●特別展示館 2階特設コーナー ●要展示観覧券 ●参加無料

自分のこころに浮かんだ仮面を描いて、みんなで21世紀の「仮面展示」を完成させよう！仮面に万博の思い出や未来へのメッセージを書き込めるよ！

関連イベント

みんぱくゼミナール	3・17(土) 万博資料収集団 ― 太陽の塔に集った仮面、神像、なりわいの道具 4・21(土) EEMという「運動」
ウィークエンド・サロン	3・11　3・18　4・1　4・8　4・15　4・22　4・29 ※日曜日開催　5・6　5・13　5・20　5・27　各14:30～
ギャラリートーク	会期中の土曜日 11:00～11:30

■特別展　9・13㊌～11・27㊊　■特別展示館

工芸継承―東北発、日本インダストリアルデザインの原点と現在

日本における工芸の近代化、産業化の推進と東北地方の工芸業界の発展を推進した国立工芸指導所は、まさに日本におけるインダストリアルデザインの原点の一つです。本特別展では、国立工芸指導所の活動を振り返りつつ、日本の工芸品が、どのように世界に挑戦するのかについて考えます。

合板を積層して強度を出した
小物入れ

カラフルな漆で
仕上げた
組み合わせ小箱

非円形ろくろで制作した
盛器

真空装置で金属を蒸着した
漆塗りの小箱

金属板を木目模様にした
人工木目大皿

関連イベント

みんぱくゼミナール	9・15(土) 特別展「工芸継承」からのメッセージ
ウィークエンド・サロン	9・23(日)　10・14(日)　11・25(日)（仮）

■企画展　6・21㊍～9・18㊋　■企画展示場

アーミッシュ・キルトを訪ねて〈仮〉

無地の服を着て馬車を駆る北米のキリスト教再洗礼派アーミッシュが布の端切れを生かしてつくるキルトは、その鮮やかな色合いや細やかなステッチで人びとを惹きつけています。2011年より収集してきたみんぱくコレクションを素材として、キルトに織りこまれた日々の暮らしや物語、キルトが結ぶ世界との交流をたどります。

アーミッシュ・キルト：センターダイアモンド

無地の女児用ワンピース

アーミッシュ・ドール
（子ども用人形）

裁縫セット

関連イベント

ウィークエンド・サロン	6・24(日) キルト・ストーリーが紡ぐ世界
みんぱくゼミナール	7・21(土) アーミッシュ・キルトを巡る旅―いくつもの人生物語へ
ワークショップ	初心者でも参加できるキルトづくりやこども向けのワークショップなどをおこなう予定です。 会期中、ギャラリートークを実施します。

※詳細は随時ホームページでお知らせします。

■音楽の祭日 2018 in みんぱく

●場所：エントランスホール等
●無料 ●申込不要

6・17㊐　「音楽はすべての人のもの」という精神にのっとり、昼の一番長い夏至のころ、プロ・アマを問わずに音楽を奏で楽しむイベント。今年度も音楽を愛するみなさんが楽器を持ってみんぱくにつどいます。

昨年の様子

■みんぱくウィークエンド・サロン―研究者と話そう

●毎週日曜日 14:30～(30～60分)　●本館展示場等 ●要展示観覧券 ●申込不要
（原則、研究公演、映画会等のイベント実施日および無料観覧日を除く）

みんぱくの研究者が「みんぱくの展示資料」、「調査している地域(国)の最新情報」、「現在取り組んでいる研究」について分かりやすくお話しします。※都合により予定を変更することがあります。

展示や催しの最新情報は、ホームページをご覧ください。

表紙：神像／マレーシア　写真：六田知弘

2018

4

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

特別展　企画展　高校生無料観覧日　無料観覧日(本館展示・企画展のみ)　友の会講演会　みんぱくウィークエンド・サロン　休館日